

西胆振地域連携フォーラムの開催



▲各首長の将来的な合併の認識が一致した西胆振地域連携フォーラム

西胆振地域の6市町の広域連携に向けた『西胆振地域連携フォーラム』が、11月1日に初めて6市町の首長や議長、まちづくり団体の代表者をパネリストに室蘭市市民会館で開催されました。

地方自治体は、少子高齢化や地方分権改革、人口減少などの背景により、基礎自治体の在り方が問われています。

第1次産業から第3次産業までの幅広い産業を持つ西胆振地域が、一つのまちになることにより、新たな産業の創出や雇用の場の確保など、産業活動を活発にする取り組みができること。また、人口約20万人と特例市並みの規模になることから、多くの権限を持つことができ、基礎自治体の充実・強化を図ることが可能となります。

フォーラムでは、各首長の将来的

な合併の必要性について認識が一致しました。

今後は、将来のまちづくりの基盤の在り方について、市民の皆さんを含めて議論されることとなります。

防災マップの配布

突然襲ってくる自然災害（大雨、地震、津波、火山噴火などの災害）に備えて安全なまちづくりを進めるため、平成17年度から室蘭工業大学や室蘭テクノセンターとの共同研究により取り組んできた、『防災マップ』が完成し各戸に配布しました。災害に対する市民の日ごろの備えを促すとともに、市もこれに基づき防災体制の強化を図っています。



登別市国民保護計画の策定

武力攻撃や大規模テロなどから、皆さんの生命・身体・財産を保護する『登別市国民保護計画』が、登別市国民保護協議会からの答申を受け、北海道との協議を経て1月に策定さ

れました。

市の責務は、国や北海道の国民保護計画を踏まえ、市の国民保護計画に基づき、国民や関係機関と連携・協力しながら、国民保護のための措置を確かつ迅速に行い、国民保護措置を総合的に推進することにあります。

鬼火が誘う地獄の谷の開催



▲多くの観光客に好評を博した地獄の谷の鬼花火

観光客の入り込み増を目指して『鬼火が誘う地獄の谷』を登別観光協会と市の共同で初めて取り組みました。

延べ24日間開催した『地獄の谷の鬼花火』では、登別温泉の湯の守り神でもある湯鬼神がドラの音を合図に登場し、観光客の病氣や災難などの厄を払い集める踊りを披露。その後、8尺の高さにまで吹き上がる手

持ちの筒型花火で厄を焼き払う様子は、地獄谷の噴火のようでした。この催しは大変好評で、地獄谷中央展望台からあふれるほどの観光客が訪れ、帰りには温泉街を散策したり買い物を楽しんだり、温泉街に人が繰り出していました。

サイパン市と友好都市提携同意書を締結

歴史的・人的につながりの強いサイパン市へ、市内関係団体からツアーを募り、30人の訪問団により11月19日から4泊5日の日程で訪問し、11月20日に『友好都市提携同意書』を締結しました。

今後は提携に基づいた子どもたちの交流や市民グループの親善訪問を通して、両市の友好関係を築き、友好の輪を広げることになっています。



▲エメラルドグリーンの海（サイパン島）